

世界の話題

ドイツ

通貨ユーロの危機が続く欧州だが、ドイツ経済は堅調だ。こうした中、ドイツでは専門職が慢性的に不足している。

欧州連合（EU）はIT（情報技術）技術者などの専門職の人材を対象に「ブルーカード」と呼ばれる労働ビザ制度を導入することを決めている。一部の国を除き、各国で適用される予定だ。EUの中でも、ドイツは制度の活用に積極的だ。発展途上国から優秀な人材を呼び込もうとしている。

ドイツでは今後、年間30万人の理科系の高学歴者が必需になるとの予測もある。経営者たちから、外国人に期待しているとの声がよく聞かれる。

ドイツはかつて独自に外国人の技術者を受け入れる制度を導入していた。しかし、期間限定だったため、受け入れた外国人は予想した数を大きく下回った。今回のブルーカード制度は外国人が長期間、ドイツに滞在できるため、期

理系の専門職 外国人に期待



待が高まっているのだ。

とはいえ、外国人労働者の受け入れに消極的な意見も根強い。かつてドイツはトルコから労働者を招いたが、彼らの多くがドイツ社会に順応しなかったとして受け入れに反対している。

ドイツで働きたいという外国人は多い。しかし、ドイツは単純労働者を受け入れたくない。単純労働者の流入を制限し、来てほしい人材だけを受け入れられるか。新制度の行方を注目しているドイツ国民は多い。（福田 直子）